

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ 第13回（令和4年度）通常総会

議事次第

日時：令和4年6月22日（水）13：30～14：45

場所：一般財団法人 リモートセンシング技術センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目17-1 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階

1. 総会成立確認

2. 議長選出

3. 議案審議

- 3-1 【第1号議案】 活動報告：新井幹事
- 3-2 【第2号議案】 令和3年度会計：事務局
- 3-3 【第3号議案】 監査：高橋監事
- 3-4 【第4号議案】 会員増減：事務局
- 3-5 【第5号議案】 幹事等選出：大川幹事
- 3-6 【第6号議案】 令和4年度活動計画：下田幹事
- 3-7 【第7号議案】 予算：事務局

4. その他

「本年度のBizEarthの活動についての意見交換」

以上

第1号議案 活動報告

令和3年度の活動結果を以下にご報告いたします。

■関係部門との調整・連携、対外活動について

・内閣府宇宙開発戦略推進事務局

→宇宙基本計画工程表改定(FY2021)案について、例年行っていたBizEarthとしてパブリックコメントについては、コロナ禍の影響もあり、未実施となった。また、訪問での情報交換会についてもコロナ禍で未実施。

・経産省宇宙産業室

→コロナ禍の影響もあり、新しいメンバーとの協議会は未実施となった。

・リモセンTF会合

→第3回目の「衛星地球観測ミッション公募を実施し、BizEarthは利活用側として審査員を実施した。

→TF会合総会への出席及び意見交換を実施、ALOSシリーズについて、意見交換を実施。

→リモセンTF会合の中に設置されている実利用連絡会(東大岩崎先生が代表)の実部隊をBizEarthで担当するか検討。

BizEarth岩崎会長、TF幹事と複数の協議を行い、BizEarth内に新しく作業部会を設置して積極的に対応する事で協議中。

・JAXA

→秋の勉強会において、衛星利用運用センター様の登壇を頂き、意見交換を実施。特にSDGs及び国際連携についてご説明

・リモートセンシング学会

→あまり活発な連携は出来なかった。

■勉強会の実施について

テーマ : 「SDG'sにおける衛星情報の利活用について」 ～SDGs×宇宙利用をどうビジネスに結びつけるか～

開催日 : 2021年11月25日

開催場所 : (株)パスコ

開催形式 : 講演及び意見交換形式とした

- 1 BizEarth: 本日の勉強会ガイダンス
- 2 横幹連合会長、東京大学名誉教授安岡善文先生: 「科学技術を社会に繋ぐ: SATREPS～SDGsに向けて」
- 3 東京大学生産技術研究所竹内渉教授: 「リモートセンシングとワンヘルス・ワンワールド」
- 4 JAXA第一宇宙技術部門衛星利用運用センター落合治主幹: 「JAXAの地球観測衛星データを用いたSDGsへの貢献活動」
- 5 BizEarth会員日本マイクロソフト(株)世古龍郎、眞嶋徳次様: 「SDG,sを達成するためのテクノロジー活用」
- 5 総合討論: SDGs×宇宙利用をどうビジネスに結びつけるか等の議論が行われた

実施結果: 会員からは、11社／23名の参加。

SDGsの折り返し点に差し掛かり、アカデミアや国際機関での利用だけでなく民間企業とのビジネス連携が出来ると良い。民間企業と日本政府・JAXAメンバーでしっかりとスキームづくりが出来ないか？それによりマネタイズが出来れば良い。等々の意見。

雑 感 : 多くの方に参加頂いた。SDGsについては、まだまだ研究者やJAXA様等の機関との連携が不足している。マイクロソフト様のような新しいプラットフォームとの連携を含め、今後のSTIをどのように作っていくかが課題としてあることを認識した。BizEarthには多くの企業が参画しており、今後前向きなチーム作りを仕掛けていければと感じた。

■作業部会の実施について

・地域連携作業部会

S-NET事業の「宇宙ビジネス創出推進自治体」の対象自治体との意見交換・連携を検討していたが、コロナの影響もあり、活動ができていない。一方、地域・自治体における衛星データの活用は進んでいる状況を確認しており、入札案件等の情報を収集している。今後、地域連携作業部会の活動方針について、検討が必要と考えている。

・若手作業部会

- コロナの影響が長引き、今年度の集合形式の勉強会開催は自粛することとした。
- コアメンバーにてWEB形式の勉強会、交流会を検討したが、コアメンバーの入れ替えもあり、結論が出せず、今年度活動は見送ることにした。

活動項目	令和3年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q
1) コアメンバー会合／メンバー内での意見交換	▲			
2) 勉強会／懇親会の実施				令和3年度は開催見送り
3) 報告書の作成				▲ 作成

・その他

- リモセンTF会合実利用連絡会向け(仮称)作業部会について、岩崎会長からの依頼を受けて、TF会議で協議中。
幹事会では、今後の宇宙政策に意見を出せる事、また今後発足予定の(仮称)地球観測衛星コンソーシアムにおける利用系民間団体としての参加も見据え、新たな作業部会発足について検討中
- その他、新規テーマについては随時受け中。

■ 広報活動について

(1) 宇宙カタログ

宇宙カタログの改訂を行い、第7版として2022年6月にBizEarth webサイトより公開した。

デジタルコンテンツにて会社PRを整備されている会員企業も多いことから、前年度に続きwebコンテンツでの掲載にも取り組んだ。

2022年4月に会員企業に新規追加・更新の希望を募り、希望があった2社について資料提示、webのURLを受け新規追加・更新を行った。また問い合わせ先の最新化を行った。

掲載企業数11社。

(2) 会員獲得活動

会員の獲得を目指して会員獲得活動を行った。会員の増減については、4号議案「会員増減報告」にて報告する。

(3) 展示会への出展

特になし。

■講演会の実施について

テーマ:「TF リモセン分科会ミッション公募の実利用に向けて(仮)」

日時等:2022年6月22日

場 所:RESTEC及びリモートアクセスで開催

講演(敬称略)

- ☐ ミッション公募の概要説明(千葉大学本多先生)
- ☐ ミッション提案者による各ミッションの紹介
 - 災害(RESTEC渡邊様)
 - 雲降水ミッション(名古屋大学高橋先生)
 - MOLI(東北大学浅井先生)
 - ひまわり後継(中島孝先生)
 - 静止光学(東京大学沖一雄先生)
- ☐ JAXAのコンソーシアム構想(JAXA松尾様)

■幹事会・情報公開について

- ・幹事会は年度初めに年間の開催スケジュールと主な議題を設定し、2か月に1回開催した。
(2021年6月、9月、10月、12月、2022年2月、4月の計6回)
- ・議事録を作成し会員に公開(配信)した。
- ・webサイトは一般の方々へ向けて衛星データの活用事例等を発信するとともに、会員向けに幹事会議事録、勉強会その他の資料等を提供する場であった。

■その他

- ・webサイトの改訂を適宜更新。 <http://www.remosen.jp/>

第1号議案 活動報告 年間活動計画との関係

【第7号議案】令和3年度活動報告			2021年5月～2022年4月				
＜具体的な活動＞							
No	項目	主担当	2021年5-6月	7-9月	10-12月	1-4月	備考
1	主要イベント			★7月：通常総会 ▲5月～7月：提案	フォロー		
2	関係部門との連携・調整	幹事会	宇宙・リモセンコミュニティとの情報交換、ビジネス連携 他コミュニティとの調整会 など	コロナ禍で活動できず			・宇宙開発戦略推進事務局 ・経産省宇宙産業室 ・総務省、他 ・リモセン学会 ・JAXA
3	企画・提案活動	企画部会			タスクフォース会合参加		
3-1	提案・TF対応	伊東企画部会長					・タスクフォース会合（TF）
3-2	勉強会	新井幹事		検討会・勉強会 ▲計画検討	勉強会：SDGsとビジネス		・リモセンポリシー ・産業ビジョン 等
4	作業部会活動						
4-1	地域連携作業部会	土肥座長／伊東副座長		自治体における実利用状況確認 コロナ禍であまり活動できず		ビジネスモデル検討	・自治体との意見交換・連携
4-2	若手作業部会	●●座長／井上副座長	▲計画検討 #1	▲FY2019 顔合わせ会 ▲計画検討 #2	▲勉強会	▲リモセン「効率的」支援	・メンバー間交流 ・勉強会（外部有識者招聘） ※座長を調整中
4-3	作業部会：順次立ち上げ	会員会社 （会員希望を受け所定手続きにて立上）	▲適宜立上げ…	リモセンTF向け新規作業部会検討			公募案件向け共同提案活動の実施時：幹事会承認を得て作業部会の立上げ活動可能。
5	広報活動	幹事会	▲宇宙カタログ改訂（第6版公開）	▲計画検討 宇宙カタログ改定		改訂原稿募集 改訂	・展示会出展 ・会員獲得活動 ・宇宙カタログ改訂
6	リモートセンシング人材の育成支援	全社 （幹事会まとめ）		作業検討・企画 コロナ禍で活動できず			
7	定期講演会開催	幹事会		▲準備	リモセンTFミッションとの意見交換 ▲2月：講演会		
8	幹事会	幹事会／監事・事務局	原則偶数月第2大曜（6月、8月、10月、12月、2月、4月）	幹事会はWebも含め開催			
9	情報公開（ホームページ）	事務局／委託会社		適宜実施 HPを随時の更新			

[第7号議案] 令和 4年度予算

収入の部

※税込金額[単位:円]

項目	前年度予算	当年度予算	増減	摘要
繰越金	1,248,810	1,711,027	462,217	R03年度繰越金
年会費	480,000	510,000	30,000	@30,000円/年・社×17社 ※日本マイクロソフト様入会
合計	1,728,810	2,221,027	492,217	

支出の部

※税込金額[単位:円]

項目	前年度予算	当年度予算	増減	摘要
作業部会活動費	100,000	200,000	100,000	@5万円×2作業部会、懇親会@5万円×2
作業部会活動予備費	150,000		▲ 150,000	
交通費	50,000		▲ 50,000	
定期講演会費	120,000		▲ 120,000	
勉強会運営費	90,000	340,000	250,000	講師謝礼 30,000円×8名回、交通費100,000円
会議運営費	250,000	50,000	▲ 200,000	総会、講演会、勉強会の会場設営費
広告・広報費 (webサイト維持・改訂・管理費)	250,000	100,000	▲ 150,000	R03.06～R04.05(12箇月間)、ドメイン維持費を含む webサイト改訂費用を含む 展示会出展、活動成果配布他を含む
雑費	5,000	10,000	5,000	振込手数料、輸送費等
印刷費(コピー代等)	20,000		▲ 20,000	案内、展示会ポスター印刷他
通信・輸送費	3,000		▲ 3,000	封筒、切手代
振込手数料	3,000		▲ 3,000	各種支払時
合計	1,041,000	700,000	▲ 341,000	

収入合計	1,728,810	2,221,027
支出合計	1,041,000	700,000
次年度繰越金	687,810	1,521,027

令和4年 5 月 31 日

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ
会 長 岩 崎 晃 殿

地球観測データ利用ビジネスコミュニティ
監 事 高 橋 康 夫


監 査 報 告

監事は、令和 3 年 5 月 1 日から令和 4 年 4 月 30 日までの令和 3 年度における業務執行の監査のため、事務局から提出のあった資料並びに、主要議題の幹事会出席による実査により、当該事業年度における主要業務の調査を行いました結果、次のとおり報告いたします。

1. 幹事の執務執行について、規約に違反する事実は認められません。
2. 事業報告の内容は、本コミュニティ活動の状況を正しく示しているものと認めます。
3. 収支決算書について監査した結果、正当であることを認めます。

以上のように令和 3 年度における主要業務は、地球観測データ利用ビジネスコミュニティ規約に基づき、適正かつ妥当に執行されていることを認めます。

以上

高橋 康夫 

[第 4 号議案] 会員の増減

令和 3 年度の会員の動きは以下のとおりである。(敬称略)

入会

正会員 1 団体

※日本マイクロソフト株式会社様 (5 月 24 日入会)

オブザーバ会員 0 団体

退会

正会員 0 団体

オブザーバ会員 0 団体

現在会員数

正会員 17 団体

オブザーバ会員 1 団体

以上

第 5 号議案 幹事等選出

幹事等選出

1. 会長は、東京大学 岩崎晃教授に再任いただきます。
2. 令和 2 年度の幹事は、下記の①～⑥の 6 社で構成しており、②③④⑤の 4 社は、規約第 12 条 3 項「幹事会社の任期は 2 年とし、再任を妨げない。」により、来年 5 月まで継続して幹事を担う。

【令和 3 年度幹事会社】

- ① 国際航業株式会社（2 年目）
- ② 一般財団法人リモート・センシング技術センター（1 年目）
- ③ 宇宙技術開発株式会社（1 年目）
- ④ 富士通株式会社（1 年目）
- ⑤ ESRI ジャパン株式会社（1 年目）
- ⑥ Harris Geospatial 株式会社（2 年目）

令和 3 年度で 2 年の任期を満了する幹事会社が 2 社（①、⑥）あることから、幹事会社の自薦他薦の案内を会員各社に送付した結果、以下の 6 社から連絡を頂いた。その結果、令和 4 年度の幹事会社の候補を以下の通りとする。

【令和 4 年度幹事会社】

- 国際航業株式会社（1 年目）
 - 一般財団法人リモート・センシング技術センター（2 年目）
 - 宇宙技術開発株式会社（2 年目）
 - 富士通株式会社（2 年目）
 - ESRI ジャパン株式会社（2 年目）
 - Harris Geospatial 株式会社（1 年目）
-
- 監事は、三井物産セキュアディレクション株式会社高橋監事に再任頂く。

以上

＜具体的な活動＞

No	項目	主担当	2021年5-6月	7-9月	10-12月	1-4月	備考
1	主要イベント		★6月：通常総会 ▲5月～7月：提案	――	フォロー	――	
2	関係部門との連携・調整	幹事会	宇宙・リモセンコミュニティとの情報交換、ビジネス連携 他コミュニティとの調整会 など	――	――	――	・宇宙開発戦略推進事務局 ・経産省宇宙産業室 ・総務省、他 ・リモセン学会 ・JAXA
3	企画・提案活動	企画部会					
3-1	提案・TF対応	下田幹事 大川幹事	――	――	フォロー	――	・タスクフォース会合(TF) (作業部会化検討) ・工程表パブコメ対応 など
3-2	勉強会	新井幹事		検討会・勉強会開催(勉強会1回) ▲計画検討	―― ▲ 勉強会		・リモセンポリシー ・産業ビジョン 等
4	作業部会活動						
4-1	地域連携作業部会	土肥座長／ 宮本副座長	――	自治体における実利用状況確認	――	ビジネスモデル検討	・2022年度活動計画構築 ・経産省自治体実証の動向把握 ・自治体との意見交換・連携
4-2	若手作業部会	橋本座長／ 井上副座長	――	▲FY2022 顔合わせ会 ▲計画検討 #1	▲勉強会検討 ▲計画検討 #2	▲勉強会	・2022年度活動計画構築 ・メンバー間交流 ・勉強会(外部有識者招聘)
4-3	作業部会：順次立ち上げ	会員会社 (会員希望を受け所 定手続きにて立上)	▲適宜立上げ…… ――	――	――	――	公募案件向け共同提案活動の実 施時：幹事会承認を得て作業部会 の立上げ活動可能。
5	広報活動	幹事会	▲宇宙カタログ改訂(6月公開) ▲計画検討／企画	――	フォロー	改訂原稿募集 改訂	・会員獲得活動 ・宇宙カタログ改訂 ・BizEarthパンフ改訂
6	リモートセンシング人材の育成支援	全社 (幹事会まとめ)		▲作業検討／企画 ――	――	――	・2022年度活動計画を幹事会にて 検討
7	定期講演会開催	幹事会	▲2021年講演会：6月実施	▲準備	――	――	
8	幹事会	幹事会／ 監事・事務局	原則偶数月第2火曜(6月、8月、10月、12月、2月、4月) ▲	▲	▲	▲	
9	情報公開(ホームページ)	事務局／ 委託会社	――	――	適宜実施	――	